

### III 資料

## 金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー設置要項

### (設置)

第1条 金沢大学(以下「本学」という。)に金沢大学学則第16条の規定に基づき、男女共同参画キャリアデザインラボラトリー(以下「ラボ」という。)を置く。

### (目的)

第2条 ラボは、本学における女性研究者支援のための研究環境の整備、次世代女性研究者を魅了するための研究制度の構築、その他卓越した女性研究者を育成するための啓発・広報活動を行うことにより、男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。

### (業務)

第3条 ラボは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 人材バンク及び情報交換ネットワークとしての人材サロンの運営
- (2) 研究パートナー制度による女性研究者支援
- (3) 優秀な若手女性研究者の雇用及び多様なキャリアパスの創出
- (4) モデル人材の育成及び発信
- (5) 育児・介護休業制度における取得容易な金沢プランの構築
- (6) 学童保育支援策の構築
- (7) その他ラボの目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (職員)

第4条 ラボに、次に掲げる職員を置く。

- (1) ラボ長
  - (2) プロジェクトオフィサー(特任教員) 若干人
  - (3) 本学の教員のうちから、ラボ長が推薦する業務分担責任者
- 2 前項の職員のほか、必要に応じ、事務職員を置くことができる。

### (ラボ長)

第5条 ラボ長は、本学の専任の教授をもって充てる。

- 2 ラボ長は、ラボの管理及び運営を総括する。
- 3 ラボ長の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 ラボ長に欠員が生じた場合の補欠のラボ長の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 ラボ長は、男女共同参画推進委員会の選考に基づき、学長が指名する。

(ラボの運営)

第6条 ラボの職員（第4条第1項第2号及び第3号の職員をいう。）教員に係る人事，年次業務計画，予算等の運営に関する重要事項は，男女共同参画推進委員会の承認を得るものとする。

(事務)

第7条 ラボの事務は，関係部課の協力を得て，総務部人事課において処理する。

(雑則)

第8条 この要項に定めるもののほか，ラボに関し必要な事項は，ラボ長が別に定める。

附 則

- 1 この要項は，平成20年7月18日から施行する。
- 2 この規程の施行後，最初のラボ長の任期は第5条第3項の規定にかかわらず，平成23年3月31日までとする。

### 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員名簿

平成23年3月31日現在

所属・職名	氏 名
留学生センター教授	八重澤 美知子
共通教育機構長	笠 井 純 一
人間社会研究域歴史言語文化学系教授	古 畑 徹
人間社会研究域法学系教授	名 古 道 功
人間社会研究域経済学経営学系教授	伍 賀 一 道
理工研究域環境デザイン学系教授	池 本 良 子
医薬保健研究域保健学系教授	稲 垣 美智子
環日本海域環境研究センター教授	中 村 浩 二
環日本海域環境研究センター准教授	長谷部 徳 子
プロジェクトオフィサー	俵 希 實
プロジェクトオフィサー	糸 野 妙 子

平成22年度 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動記録

2010年4月6日	男女共同参画キャリアデザインラボラトリー(以下CDL)ミーティング
2010年4月16日	授業「理系のジェンダー学」① 糸野 妙子 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年4月19日	・CDLミーティング ・平成22年度前期 研究パートナー・若手女性研究者支援 発令・労働条件通知
2010年4月23日	授業「理系のジェンダー学」② 糸野 妙子 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年4月30日	授業「理系のジェンダー学」③ 糸野 妙子 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年5月10日	CDLミーティング
2010年5月14日	授業「理系のジェンダー学」④ 糸野 妙子 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年5月19日	MEX金沢2010 準備
2010年5月20日	MEX金沢2010 研究紹介ポスター展「Beauty in Science, Technology and Engineering」
2010年5月21日	・MEX金沢2010 研究紹介ポスター展「Beauty in Science, Technology and Engineering」 ・理系のジェンダー学⑤ 小松 美英子(富山大学)、意見交換
2010年5月22日	MEX金沢2010 研究紹介ポスター展「Beauty in Science, Technology and Engineering」・進路相談窓口
2010年5月24日	CDLミーティング
2010年5月27日	PO(特任准教授)面接
2010年5月28日	・理系のジェンダー学⑥ 田中 真美(東北大学) ・セミナー「先輩に学ぶ女性研究者支援 ～東北大学の取り組みから～」
2010年6月4日	理系のジェンダー学⑦ 阿部 眞由美、中木原 江利 (Skilled Specialist 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年6月7日	CDLミーティング
2010年6月11日	理系のジェンダー学⑧ 都野 展子 (理工学域自然システム学系)
2010年6月18日	・理系のジェンダー学⑨ 坂本 敏夫 (理工学域自然システム学系) ・ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー 打ち合わせ
2010年6月21日	CDLミーティング
2010年6月22日	里山 KIDSROOM ミーティング
2010年6月23日	出前実験：福井県立美方高等学校
2010年6月24日	国立女性教育会館「大学・研究機関のための男女共同参画推進研修」(参加：糸野)
2010年6月25日	・国立女性教育会館「大学・研究機関のための男女共同参画推進研修」(参加：八重澤、糸野) ・理系のジェンダー学⑩ 長谷部 徳子(環日本海域環境研究センター)、金山 恭子(自然科学研究科博士後期課程学生)
2010年6月27日	石川県「2010年男女共同参画のつどい」(「女性チャレンジトーク」のコーディネーターを八重澤美知子ラボラトリー長が担当)
2010年6月29日	里山 KIDSROOM ミーティング
2010年7月1日	PO(特任准教授)着任
2010年7月2日	理系のジェンダー学⑪奥野 正幸(理工学域自然システム学系)
2010年7月5日	CDLミーティング
2010年7月7日	・講演会「北欧社会における女性 スウェーデン、デンマーク、ノルウェーの事例から」 里山 KIDSROOM 会場下見 ・石川県民文化局男女共同参画課主催大学生向けデートDVに関するセミナー(於 金沢大学)
2010年7月8日	里山 KIDSROOM ミーティング

2010年7月9日	理系のジェンダー学⑫ 長谷部 徳子 (環日本海域環境研究センター)
2010年7月12日	CDLミーティング
2010年7月16日	理系のジェンダー学⑬ 須山 知香 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年7月23日	理系のジェンダー学⑭ 池本 良子 (理工学域環境デザイン学系)
2010年7月26日	研究パートナー制度の利用を希望する女性研究者を追加募集 (締切8/2)
2010年7月28日	講習会「子育て支援～金沢市の取り組み～」
2010年7月30日	・理系のジェンダー学⑮ 糸野 妙子 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー) ・CDLミーティング
2010年8月4日	オープンキャンパス準備
2010年8月5日	・オープンキャンパスにて研究紹介ポスター展・相談窓口 ・CDLミーティング
2010年8月6日	オープンキャンパスにて研究紹介ポスター展・相談窓口
2010年8月11日	里山 KIDSROOM (準備)
2010年8月17日	里山 KIDSROOM (準備)
2010年8月18日	里山 KIDSROOM 1日目
2010年8月21日	いしかわ環境フェア2010にて研究紹介ポスター展
2010年8月22日	いしかわ環境フェア2010にて研究紹介ポスター展
2010年8月24日	里山 KIDSROOM (準備)
2010年8月25日	里山 KIDSROOM 2日目
2010年9月1日	研究パートナー (後期) を希望する研究者を募集 (締切9/17)
2010年9月6日	若手女性研究者支援制度 (後期) を希望する女性研究者を募集 (締切9/14)
2010年9月10日	ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー打ち合わせ
2010年9月15日	平成22年度第1回フロンティアサイエンス機構研究リテラシーコースに参加 (俵、糸野)
2010年9月16日	・CDLミーティング ・金沢大学イノベーションレポートVol.3 (金沢大学イノベーションセンター発行) に MEX金沢2010の記事掲載
2010年10月1日	・CDLミーティング ・ジェンダー学実践編① 俵 希實 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年10月4日	・第9回男女共同参画推進委員会 ・ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー 表紙・顔写真撮影
2010年10月5～6日	女性研究者支援システム改革プログラム事業合同シンポジウム 「未来を築く女性研究者の飛翔に向けて」 (参加: 八重澤、都野、俵)
2010年10月7日	第8回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム「男女共同参画と社会」 (参加: 糸野)
2010年10月8日	ジェンダー学実践編② 杉田 真衣 (人間社会研究域学校教育系)
2010年10月12日	・平成22年度後期 研究パートナー・若手女性研究者支援 発令・労働条件通知 ・ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー 表紙撮影
2010年10月15日	ジェンダー学実践編③ 坂井 明美 (金沢大学名誉教授 (看護学))
2010年10月16日	公開講座「自分らしさ発見・再発見 -男女ともに生きやすい社会をめざして- (Part2)」① 糸野 妙子 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2010年10月18日	・CDLミーティング ・ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー打ち合わせ
2010年10月20日	ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー打ち合わせ
2010年10月22日	ジェンダー学実践編④ 越田 理恵 (金沢市福祉健康局こども福祉課)
2010年10月23日	公開講座「自分らしさ発見・再発見 -男女ともに生きやすい社会をめざして- (Part2)」② 中野 節子 (人間社会学域歴史言語文化学系)
2010年10月25日	・CDLミーティング ・ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー打ち合わせ
2010年10月27日	講演会「子育て支援～金沢市の取り組み～」
2010年10月29日	ジェンダー学実践編⑤ 越堂 静子 (Working Women's Network代表)
2010年10月30日	公開講座「自分らしさ発見・再発見 -男女ともに生きやすい社会をめざして- (Part2)」③ 越堂 静子 (Working Women's Network代表)
2010年11月1日	金沢大学広報誌Acanthus18号に女性研究者連載記事が掲載
2010年11月5日	ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー準備

2010年11月6日	ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー 「Beauty in Science, Technology and Engineering」女性研究者実験ブース&研究紹介ポスター展&進路相談窓口
2010年11月8日	CDLミーティング
2010年11月12日	ジェンダー学実践編⑥ 高橋 涼子 (人間社会研究域人間科学系)
2010年11月14日	女性医師の生き方セミナー (金沢大学附属病院女性医師センター (主催)、男女共同参画キャリアデザインラボラトリー (共催))
2010年11月17日	ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー学長賞授与式
2010年11月19日	・ジェンダー学実践編⑦ 森山 奈美 (株式会社御祓川 代表取締役) ・出前実験: 石川県立金沢泉丘高等学校
2010年11月20日	公開講座「自分らしさ発見・再発見 -男女ともに生きやすい社会をめざして- (Part2)」④ 久保 拓也 (人間社会研究域学校教育系)
2010年11月24日	学会開催中の一時保育について、金沢市との連携を公表
2010年11月26日	・CDLミーティング ・ジェンダー学実践編⑧ 田邊 浩 (人間社会研究域人間科学系)
2010年11月30日	No.57薬友会誌 2010年号に、金沢大学人材バンクの広告を掲載
2010年12月1日	第2回中国四国男女共同参画シンポジウム「持続可能社会に向けての男女共同参画～女性研究者支援モデル育成事業から見てきたもの～」へポスター提供
2010年12月2日	・CDLミーティング ・プレスリリース 打ち合わせ (広報)
2010年12月3日	ジェンダー学実践編⑨ 古畑 徹 (人間社会研究域歴史言語文化学系)
2010年12月7日	・第3回金沢大学女性研究者支援シンポジウム「多様な人材を活かす大学へ～女性研究者養成のこれから～」 ・北陸中日新聞 (朝刊) に「金大「環境」ととのえました」が掲載
2010年12月8日	・北陸中日新聞 (朝刊) に「複数で決定権共有を 女性研究者支援シンポ松岡さんが講演」が掲載 ・北國新聞 (朝刊) に「女性研究者生かす組織の在り方探る 金大がシンポ」が掲載
2010年12月10日	ジェンダー学実践編⑩ 石原 多賀子 (北陸大学未来創造学部)
2010年12月13日	金沢駅もてなしドームにて、研究紹介ポスター展「Beauty in Science, Technology and Engineering (金沢大学女性研究者支援)」
2010年12月14日	北陸中日新聞 (朝刊) に「金沢大女性研究者活躍をポスターに JR金沢駅前展示」が掲載
2010年12月15日	北國新聞 (朝刊) に「金大理工系女性研究者の活動紹介 ポスター展」が掲載
2010年12月16日	CDLミーティング
2010年12月17日	ジェンダー学実践編⑪ 堀井 祐介 (大学教育開発・支援センター)
2010年12月21日	第10回男女共同参画推進委員会
2010年12月27日	石川県男女共同参画に関する県民意識調査の依頼を受ける (俵、糸野)
2010年12月28日	金沢駅もてなしドーム研究紹介ポスター展 終了
2011年1月7日	ジェンダー学実践編⑫ 大藪 加奈 (外国語教育研究センター)
2011年1月12日	ジェンダー学実践編⑬ 杉橋 やよい (人間社会研究域経済学経営学系)
2011年1月18日	CDLミーティング
2011年1月19日	北陸農政局「平成22年度地方農政局職員能力向上研修」(テーマ「男女共同参画について」) 講師: 俵 希實、糸野 妙子
2011年1月21日	ジェンダー学実践編⑭ 綿引 伴子 (人間社会研究域学校教育系)
2011年1月28日	ジェンダー学実践編⑮ 俵 希實 (男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)
2011年2月10日	CDLミーティング
2011年2月18日	講演会「石川県の子育て支援」
2011年2月22日	岩手大学・岡山大学 意見交換会 (於 金沢大学)
2011年3月1日	金沢大学広報誌Acanthus19号に女性研究者連載記事が掲載
2011年3月10日	第11回男女共同参画推進委員会
2011年3月22～4月中旬	金沢大学附属図書館にて、研究紹介ポスター展「Beauty in Science, Technology and Engineering」
2011年3月24日	CDLミーティング
2011年3月29日	金沢大学教職員組合女性部にて事業報告

## 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー会議議事

日時：2010年4月6日（火） 12:30～13:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 平成22年度前期 研究パートナー制度
2. 女性研究者の研究紹介ポスター展（MEX 金沢 2010）

日時：2010年4月19日（月） 12:30～13:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 研究パートナー制度
2. 年間計画
3. 次年度以降の取り組み
4. 女性研究者の研究紹介ポスター展（MEX 金沢 2010）
5. 優秀若手女性研究者支援制度
6. 他大学との意見交換会

日時：2010年5月10日（月） 12:30～13:50

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 次年度以降の取り組み
2. 講演会（海外の女性研究者支援）
3. 他大学との意見交換会
4. 第3回シンポジウム

日時：2010年5月24日（月） 12:30～13:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 次年度以降の取り組み
2. オープンキャンパス
3. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
4. 第3回シンポジウム
5. 講演会（海外の女性研究者支援）
6. 他大学との意見交換会
7. 女性研究者の研究紹介ポスター展（MEX 金沢 2010）

日時：2010年6月7日（月） 12:30～13:15

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 間接経費
2. 研究パートナー制度
3. 人材バンク 広報
4. 第3回シンポジウム
5. 講演会（海外の女性研究者支援）

日時：2010年6月21日（月） 12:30～13:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 教員公募文書
2. 研究パートナー制度 アンケート
3. 里山 KIDS ROOM
4. 高校生へのアンケート
5. 広報誌「Acanthus」・e-Acanthus での女性研究者の特集
6. 間接経費
7. 第3回シンポジウム
8. 女性研究者の研究紹介のポスター展
9. 他部局の男女共同参画セミナー
10. 講演会（海外の女性研究者支援）
11. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー

日時：2010年7月5日（月） 12:30～14:00

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 報告（大学・教育機関のための男女共同参画推進研修）
2. 里山 KIDS ROOM
3. 第3回シンポジウム
4. 講演会 海外の女性研究者支援
5. 研究パートナー制度 アンケート
6. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー

日時：2010年7月12日（月） 12:30～13:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 研究パートナー制度
2. 第3回シンポジウム
3. 講演会（海外の女性研究者支援）



4. 里山 KIDS ROOM

5. 地域との連携

日時：2010年7月30日（金） 17:00～18:00

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 第3回シンポジウム
2. 広報誌「Acanthus」 女性研究者連載記事
3. 里山 KIDS ROOM
4. 地域の取組み紹介 講演会

日時：2010年8月5日（木） 14:00～14:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 研究パートナー制度
2. 優秀若手女性研究者支援制度 後期募集
3. 広報誌「Acanthus」 女性研究者連載記事
4. 里山 KIDS ROOM
5. 第3回シンポジウム
6. ジェンダー関連講義
7. 地域の取組み紹介 講演会

日時：2010年9月16日（木） 10:50～11:45

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 後期研究パートナー制度審査
2. 若手女性研究者支援制度審査
3. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
4. 第3回シンポジウム
5. 学会開催中の一時保育
6. 人材バンク運用について

日時：2010年10月1日（金） 12:30～14:20

参加者；男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 男女共同参画推進委員会
2. 人材バンク
3. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
4. 第3回シンポジウム

日時：2010年10月18日（月） 12:20～12:50

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 第3回シンポジウム
2. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
3. 講演会「子育て支援 ～金沢市の取り組み～」
4. 広報誌「Acanthus」 女性研究者連載記事
5. シンポジウム参加報告

日時：2010年10月25日（月） 13:30～14:15

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 第3回シンポジウム
2. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー

日時：2010年11月8日（月） 12:20～13:00

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 第3回シンポジウム
2. 女性研究者の研究紹介ポスター展（金沢駅もてなしドーム）
3. 講演会「子育て支援 ～金沢市の取り組み～」
4. ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー 報告
5. 地域の取り組み紹介 講演会

日時：2010年11月26日（金） 12:30～13:45

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 第3回シンポジウム
2. 女性研究者の研究紹介ポスター展（金沢駅もてなしドーム）

日時：2010年12月2日（木） 12:30～13:40

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

第3回シンポジウム

日時：2010年12月16日（木） 12:30～13:30

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 第3回シンポジウム報告
2. 予算執行

日時：2011年1月18日（火） 12:30～14:00

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 平成22年度報告書
2. 予算執行
3. 石川県県民意識調査
4. 女性研究者の研究紹介ポスター展（金沢駅もてなしドーム）
5. 「ジェンダー学実践編」授業記録

日時：2010年2月10日（木） 14:30～16:10

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 予算執行
2. 成果報告書

講演会「石川県の子育て支援」

日時：2010年3月24日（木） 17:00～

参加者：男女共同参画キャリアデザインラボラトリー職員および事務局

議題：

1. 予算執行
2. 業務の確認
3. 成果報告書

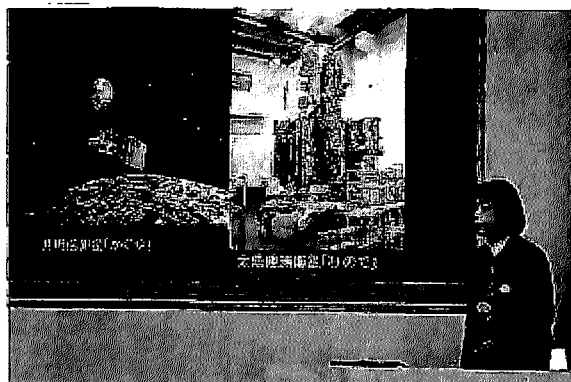


2010年12月7日実施

第3回金沢大学女性研究者支援シンポジウム

「多様な人材を活かす大学へ ～女性研究者養成のこれから～」

① 2010年12月8日 北陸中日新聞



# 複数で決定権共有を

## 女性研究者 松岡さんが講演

金大

松岡さんは、科学術  
屋計画に携わる女性研  
究者は計画のリーダー

から誘われた場合が多  
く、「リーダーには男  
女の別なく評価し参加  
させる意識が必要」だ  
と強調した。  
さらに、「女性が真  
任ある立場に就きたく  
いのは、家庭と仕事の  
両立が難しいと敬遠さ  
れがちだから」とも指  
摘。男女双方の課題と  
して「決定権や責任を  
二人以上で共有し、補  
い合うなどの対策が必  
要だ」と提言した。  
(は抄真子)

女性研究者が活躍で  
きる環境や人材育成を  
考えるシンポジウムが  
七日、金沢大附属キャ  
ンパスで、学生や市民  
ら約百十人が参加し  
て開かれた。  
同大は二〇〇八年に  
文部科学省の科学技術  
女性研究支援プログラム  
を始めた松岡彩子さん  
が講演。女性研究者が  
活動を続けるために必  
要な組織の仕組みや意  
識について話した。

宇都航空研究開発機  
構(JAXA)宇宙科  
学研究所で女性初のフ  
ロシエクトマネジャー  
を務めた松岡彩子さん  
が講演。女性研究者が  
活動を続けるために必  
要な組織の仕組みや意  
識について話した。

② 2010年12月8日 北國新聞

女性研究者生かす  
組織の在り方探る  
金大がシンポ  
第3回金大女性研究  
者支援シンポジウム  
「多様な人材を活かす  
大学へ」女性研究者養  
成のこれからが7日、  
同大で開かれ、参加者  
は講義を通して女性研  
究者が活躍しやすい社  
会や組織の在り方を考  
えた。  
宇都航空研究開発機  
構の松岡彩子准教授、  
小笠原雅子日本女子大  
名誉教授が講演し、女  
性研究者がプロジェクト  
を先導し、研究に貢  
献するために必要なが  
活動や取り組みを提案し  
た。同大での女性研究  
者支援事業についての  
報告も行われた。

- ③ 2011年1月17日  
文教速報 7537号

金沢大、女性研究者支援シンポジウムを開催

第三回金沢大学女性研究者支援シンポジウム「多様な人材を活かす大学へ」女性研究者養成のこれから」が、このほど開催された。

シンポジウムでは、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所あけぼのプロジェクトマネージャーの松岡彩子准教授が「科学衛星プロジェクトで活躍する研究者」、科学技術振興機構男女共同参画主監の小籠香椎子氏が「女性研究者のエンパワーメント」についてそれぞれ講演。また、金沢大の女性研究者支援に関して事業報告を行った。

学内外から参加した約百二十名にとつて、女性研究者のリーダーシップを養成するために必要なことや大学が男女共同参画を進める意義、金沢大の現状について考える機会となった。



学内外から120名が参加したシンポジウム

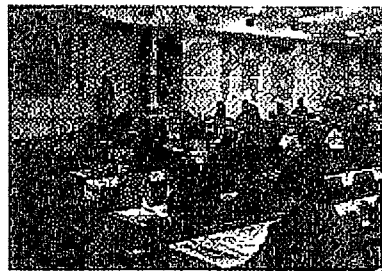
- ④ 2011年1月3・10日 文教ニュース 第2118・19合併号

Ⅱ金沢大学Ⅱ

第3回女性研究者支援シンポジウム

金沢大学はこのほど、第3回金沢大学女性研究者支援シンポジウム「多様な人材を活かす大学へ」女性研究者養成のこれから」を開催した。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所あけぼのプロジェクトマネージャーの松岡彩子准教授が「科学衛星プロジェクトで活躍する研究者」について、科学技術振興機構男女共同参画主監の小籠香椎子氏が「女性研究者のエンパワーメント」について、それぞれ講演。また、同大学の女性研究者支援について事業報告が行われた。学内外から参加した約120名にとつて、女性研究者のリーダーシップを養成するために必要なことや大学が男女共同参画を進める意義、同大学の現状について考える機会となった。




学内外から約120名が参加したシンポジウム

2010年12月13日～28日実施

女性研究者の研究紹介ポスター展 金沢駅もてなしドーム

① 2010年12月14日 北陸中日新聞



金沢大女性研究者  
活躍をポスターに  
J・R会館駅前で展示

金沢大の理工系女性  
研究者によるポスター  
展が十三日、J・R金沢  
駅前もてなしドーム地  
下広場で始まった。二  
十八日まで。

学内の女性研究者ら  
三十人が研究中に撮影  
した写真や、県内のテ  
サインス事務所に依頼し  
てポスターに仕上げた

社二二三点を展示。研  
究にかけると思いや意気  
込みを込めてつくった文  
章も書かれている。

金沢大総務共同企画  
キャリアデザインラボ  
ラトリの佐橋実特任  
准教授は「女性が理工  
系分野で活躍している  
ことを多くの人に知っ  
てほしい。また、女性  
が理工系分野に関心を  
持つきっかけになれば  
は」と話している。

(北陸中日新聞)

理工系女性研究者のポスター  
を見る市民＝J・R金沢駅前

② 2010年12月15日 北國新聞

金大理工系女性  
研究者の活動紹介  
ポスター展

金大の理工系女性研  
究者の活動を紹介する  
ポスター展は13日、J  
R金沢駅もてなしド  
ーム地下広場を始まり、  
研究の中で出会った

「美の一端」をとりえ  
た30点が自然科学の魅  
力を伝えている。

同大が2008年から  
取り組む女性研究者

支援キラル育成事業の  
一環で企画され、毎年  
学生を含む研究者10人  
が参加している。金色  
に輝く羽化直後のトン  
ボや、ループ状に連な  
るストッキングの編み  
地を写した作品が展示  
された。28日まで。

2010年5月20日～22日実施

女性研究者の研究紹介ポスター展（MEX 金沢 2010（機械工業見本市金沢））

2010年9月 金沢大学イノベーション創成センター発行

金沢大学イノベーションレポート Vol.3 49 ページより

## MEX 金沢 2010 （機械工業見本市金沢）へ出展

2010.5.20

-5.22

平成 22 年 5 月 20 日（木）～22 日（土）の 3 日間、石川県産業展示館 4 号館において、MEX 金沢 2010 が開催されました。このイベントには、県内外の企業や大学など 103 社・団体が出展し、約 50000 人の来場者がありました。本学からは、以下の 2 ブースで出展しました。

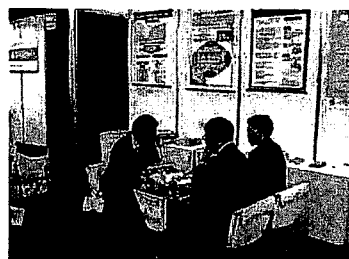
- 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー  
理工学域女性研究者グループ  
理工系女性研究者の研究紹介写真展  
「Beauty in Science, Technology and Engineering」



理工系女性研究者の研究紹介写真展

- イノベーション創成センター  
イノベーション創成センターの組織説明と産学連携制度のパネル展示  
技術アドバイスサービス及び共同研究等のご案内  
出張技術相談所の設置

今年度も昨年度と同様の規模での開催にも関わらず、来場者数は昨年度より上回っておりました。写真展のデザイン性に興味を持ち訪れる方も多く、金沢大学女性研究者の研究へ関心を持っていただけたようです。



出張技術相談所の様子



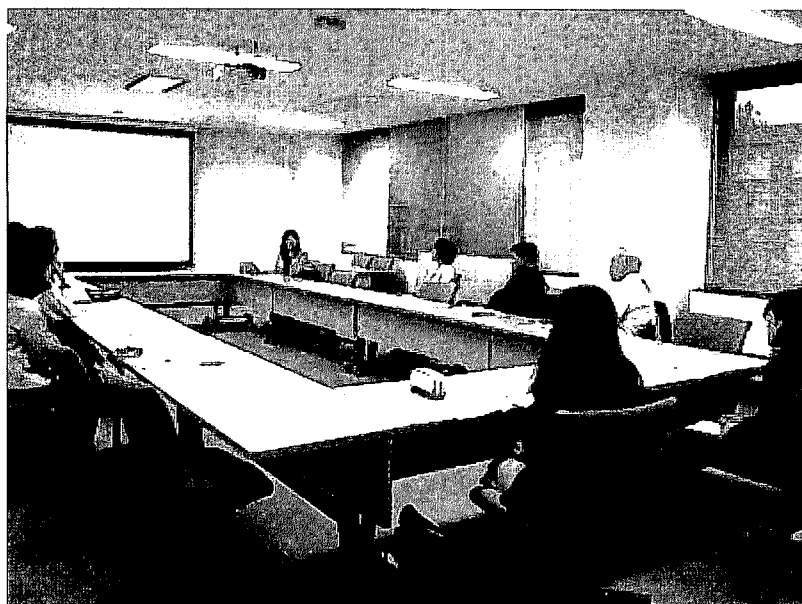
### 東北大学の女性研究者支援に関するセミナーを開催

2010年5月28日

5月28日、本部事務局第2会議室で、「先輩に学ぶ女性研究者支援 ～東北大学の取り組みから～」が開催しました。東北大学女性研究者育成支援推進室の田中真美副室長が講師となって、東北大学の取り組みを説明し、引き続き意見交換を行いました。

金沢大学は平成20年度に「女性研究者支援モデル育成」事業に採択され、研究環境・制度の整備や啓発・広報活動など、男女共同参画推進の取り組みを行っています。東北大学では、同事業「杜の都女性研究者ハードリング支援事業」（平成18年度から平成20年度）を推進し、引き続き平成21年度からは「女性研究者支援システム改革加速」事業の取り組みも進めておられます。

理工学域長をはじめ多くの参加者は、東北大学の先進的な取り組みや環境について理解を深め、また、本学での環境整備の促進について等活発な意見交換を行いました。



### 男女共同参画についての講演会を開催

2010年7月7日

7月7日、男女共同参画の環境が先進的な北欧社会における女性に焦点をあてた講演会を開催しました。講演では、本学大学教育開発・支援センターの堀井祐介教授によるデンマーク、スウェーデン、ノルウェーの北欧社会における女性の活躍について、王室や閣僚、子育て支援など様々な側面からの紹介があり、意見交換では日本でこれから北欧のように、女性の社会参画が進むようにするにはどのようにすればよいかなど、活発な質疑応答が行われました。

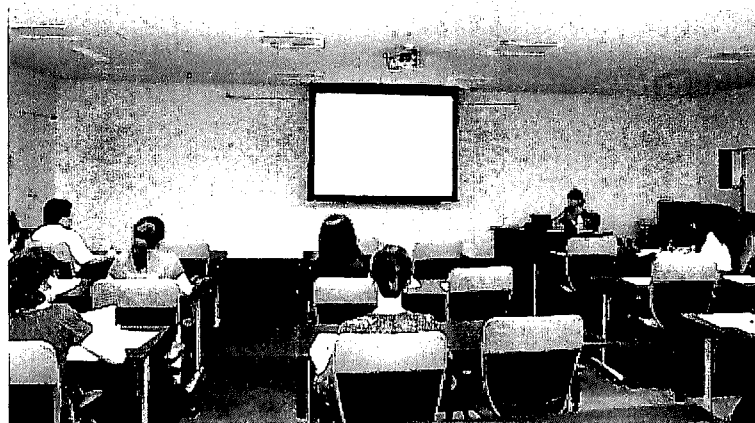


### 金沢市の子育て支援策の講習会を開催

2010年7月28日

7月28日、金沢市が行っている子育て支援の講習会を開催しました。金沢市福祉健康局こども福祉課長の越田理恵氏に、「かなざわ子育て夢プラン2010」について紹介し、質疑応答を行いました。

金沢市は待機児童0で、夜間保育や病児保育など子育て支援が進んでいる自治体です。金沢市の取り組みを本学の教職員および学生が知り利用することで、より充実した研究環境や職場環境の確保、子育てに対する意識の浸透など、地域との連携で助けになる可能性を見出しました。



## 育児支援事業 里山 KIDS ROOM を開催

2010年8月18,25日

8月18, 25日, 里山 KIDS ROOM「ぷらんつ・きんぐどむ・ハンター ～植物界の多様性をつかまえるよ～」を開催しました。

植物分類学専門の須山知香男女共同参画キャリアデザインラボラトリー博士研究員が講師となって, 子どもたちは観察したい植物を探したり, 見つけた植物の匂いを嗅いだりと生物を観察しながら, 角間の里山を歩きました。また, ペットボトルを使って, 土の中の生物を観察するための装置を作って設置, 見つけた生物を顕微鏡で観察し, 観察用に野草の鉢植えを作ったりとさまざまな活動を行いました。

子どもたちは, 植物の多様性を認識し, また土の中の生物にも目を向けることでこれまでとは違った目で自然を見るきっかけになりました。



## 公開講座「自分らしさ発見・再発見ー男女ともに生きやすい社会をめざしてー(Part2)」を開講

2010年10月16日-11月20日

10月16日～11月20日の約1ヶ月にわたり, 公開講座「自分らしさ発見・再発見ー男女ともに生きやすい社会をめざしてー(Part2)」を開講します(全4回)。

第1回目は, 講師の糸野妙子特任助教が大学や研究機関におけるジェンダーについて講演し, 金沢大学での女性研究者支援の現状に触れながら, 男性だから, 女性だからといった概念にとらわれることなく「自分を大切にし, 自分らしく生きられる社会」をどのように実現していったらよいか, 受講者と意見を交わしました。

主任講師: 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー特任助教 糸野妙子



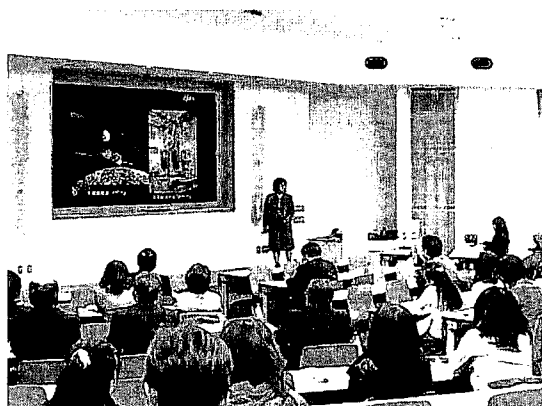
### 第3回金沢大学女性研究者支援シンポジウムを開催

2010年12月7日

12月7日、自然科学大講義棟において、第3回金沢大学女性研究者支援シンポジウム「多様な人材を活かす大学へ～女性研究者養成のこれから～」を開催しました。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所あけぼのプロジェクトマネージャーの松岡彩子准教授が「科学衛星プロジェクトで活躍する研究者」について、科学技術振興機構男女共同参画主監の小舘香椎子氏が「女性研究者のエンパワーメント」について、それぞれ講演。また、本学の女性研究者支援についての事業報告を行いました。

学内外からの約120名の参加者にとって、女性研究者のリーダーシップを養成するために必要なことや、大学が男女共同参画を進める意義、本学の現状について考える機会となりました。



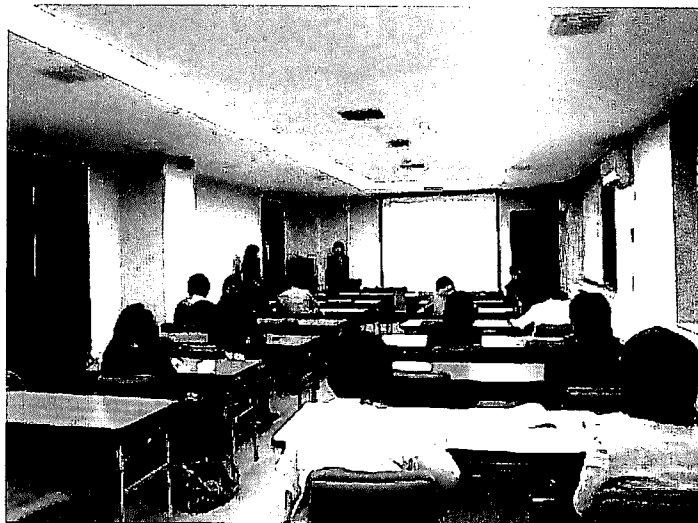
## 金沢市の子育て支援策の講習会を開催

2010年10月27日

10月27日、本学総合教育講義棟にて、金沢市が行っている子育て支援の取り組みを紹介する講演会を開催しました。市福祉健康局の越田理恵氏が、「かなざわ子育て夢プラン2010」を紹介。その後、質疑応答を行いました。

市は、待機児童数ゼロで、夜間保育や病児保育など、子育て支援が進んでいる自治体。市の取り組みを本学の教職員および学生が知り、利用することで、より充実した研究環境や職場環境を確保する助けとなる可能性があることを提示しました。講演の後は、活発な質疑応答が行われ、参加者の関心の高さがうかがえました。

配付資料をご希望の方は、本学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーへご連絡ください。

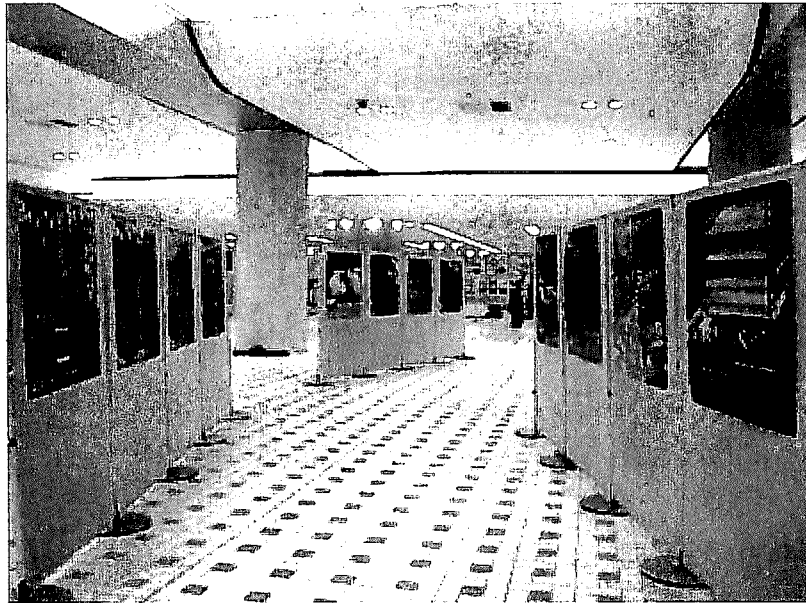


## 女性研究者の研究紹介ポスターを展示

2010年12月13-28日

12月13日から28日の間、本学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーは、金沢駅もてなしドーム地下広場において、女性研究者の研究紹介ポスター展「Beauty in Science, Technology and Engineering」を開催しました。

これは広く一般の方々の理学・工学への興味を深め、女性の理系分野への進出を促すために企画されたもの。本学の女性研究者および学生30名が研究の中でとらえた「美の一瞬」をポスターで紹介しました。



#### 石川県の子育て支援に関する講演会を開催

2011年2月18日

2月18日、本学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーは、石川県の子育て支援の取り組みを紹介する講演会を開催しました。

石川県健康福祉部少子化対策監室次世代グループ・グループリーダーの八戸大紀氏が、県の少子化の現状と課題とともに、育児不安の解消やワークライフバランスの推進など、「いしかわエンゼルプラン2010」を中心に、重点的な取り組みを紹介しました。

講演の後には、男性と女性双方が育児休業を取りやすくするためにどのような取り組みを行ったらよいかなど、活発な意見交換がなされました。



## 金沢大学広報誌 Acanthus

金沢大学広報誌 Acanthus にて、金沢大学男女共同参画についての連載が始まりました。金沢大学の男女共同参画のとりくみと、「華麗に情熱的に！女性研究者シリーズ」として女性研究者の紹介の記事が掲載されています。

2010年11月1日 金沢大学広報誌 Acanthus No. 18



2011年3月1日 金沢大学広報誌 Acanthus No. 19



# 金沢大学の学生・職員数

学士 学生数

単位：人 ( ) は女子学生数  
 平成22年5月1日現在 \*は女子学生の比率を示す  
 ※は従前の学科を示す

学域 学部	学類・学科・課程	定員	在籍者数						計
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
人間社会学域	人文学類	145	156 (118)	152 (91)	152 (92)	-	-	-	460 (301)
	法学類	170	171 (62)	174 (72)	178 (62)	-	-	-	523 (196)
	経済学類	185	190 (61)	198 (64)	193 (56)	-	-	-	581 (181)
	学校教育学類	100	102 (69)	109 (65)	105 (70)	-	-	-	316 (204)
	地域創造学類	80	85 (45)	81 (44)	82 (50)	-	-	-	248 (139)
	国際学類	70	72 (62)	81 (57)	81 (53)	-	-	-	234 (172)
	計	750	776 (417)	795 (393)	791 (383)	-	-	-	2,362 (1,193) *50.5%
理工学域	数物科学類	84	87 (12)	89 (13)	102 (11)	-	-	-	278 (36)
	物質化学類	81	88 (19)	85 (19)	92 (24)	-	-	-	265 (62)
	機械工学類	140	151 (6)	151 (4)	167 (5)	-	-	-	469 (15)
	電子情報学類	108	116 (13)	123 (9)	144 (8)	-	-	-	383 (30)
	環境デザイン学類	74	82 (16)	84 (18)	87 (15)	-	-	-	253 (49)
	自然システム学類	102	108 (43)	108 (36)	115 (32)	-	-	-	331 (111)
	計	589	632 (109)	640 (99)	707 (95)	-	-	-	1,979 (303) *15.3%
医薬保健学域	医学類	112	112 (25)	105 (24)	97 (20)	-	-	-	314 (69)
	薬学類・創薬科学類	75	75 (34)	76 (32)	77 (36)	-	-	-	228 (102)
	保健学類	200	206 (157)	203 (148)	219 (169)	-	-	-	628 (474)
	計	387	393 (216)	384 (204)	393 (225)	-	-	-	1,170 (645) *55.1%
文学部	人間学科	-	-	-	-	76 (51)	-	-	76 (51)
	史学科	-	-	-	-	76 (33)	-	-	76 (33)
	文学科	-	-	-	-	96 (73)	-	-	96 (73)
	計	-	-	-	-	248 (157)	-	-	248 (157) *63.3%
教育学部	学校教育教員養成課程	-	-	-	-	109 (53)	-	-	109 (53)
	障害児教育教員養成課程	-	-	-	-	24 (19)	-	-	24 (19)
	人間環境課程	-	-	-	-	77 (52)	-	-	77 (52)
	スポーツ科学課程	-	-	-	-	40 (8)	-	-	40 (8)
	計	-	-	-	-	250 (132)	-	-	250 (132) *52.8%
法学部	法政学科	-	-	-	-	233 (96)	-	-	233 (96)
	法学科*	-	-	-	-	4 (1)	-	-	4 (1)
	計	-	-	-	-	237 (97)	-	-	237 (97) *40.9%
経済学部	経済学科	-	-	-	-	251 (91)	-	-	251 (91)
	計	-	-	-	-	251 (91)	-	-	251 (91) *36.3%
理学部	数学科	-	-	-	-	41 (3)	-	-	41 (3)
	物理学科	-	-	-	-	43 (3)	-	-	43 (3)
	化学科	-	-	-	-	38 (8)	-	-	38 (8)
	生物学科	-	-	-	-	31 (11)	-	-	31 (11)
	地球学科	-	-	-	-	36 (10)	-	-	36 (10)
	計算科学科	-	-	-	-	39 (6)	-	-	39 (6)
	計	-	-	-	-	228 (41)	-	-	228 (41) *18.0%
医学部	医学科	-	-	3 (0)	6 (0)	97 (17)	100 (21)	108 (21)	314 (59)
	保健学科	-	-	-	-	235 (166)	-	-	235 (166)
	計	-	-	3 (0)	6 (0)	332 (183)	100 (21)	108 (21)	549 (225) *41.0%
薬学部	総合薬学科*	-	-	-	-	2 (1)	-	-	2 (1)
	薬学科	-	-	-	-	35 (19)	38 (28)	-	73 (47)
	創薬科学科	-	-	-	-	43 (10)	-	-	43 (10)
	計	-	-	-	-	80 (30)	38 (28)	-	118 (58) *49.2%
工学部	土木建設工学科	-	-	-	-	94 (18)	-	-	94 (18)
	機能機械工学科	-	-	-	-	110 (2)	-	-	110 (2)
	物質化学工学科	-	-	-	-	117 (27)	-	-	117 (27)
	電気電子システム工学科	-	-	-	-	80 (3)	-	-	80 (3)
	人間・機械工学科	-	-	-	-	100 (5)	-	-	100 (5)
	情報システム工学科	-	-	-	-	89 (4)	-	-	89 (4)
	計	-	-	-	-	590 (59)	-	-	590 (59) *10.0%
合計	1,726	1,801 (742)	1,822 (696)	1,897 (703)	2,216 (790)	138 (49)	108 (21)	7,982 (3,001) *37.6%	



大学院 修士課程（博士前期課程を含む） 学生数

単位：人 ( ) は女子学生数  
 平成22年5月1日現在 \*は女子学生の比率を示す  
 ※は従前の専攻を示す

研究科	専攻名	定員	在籍者数		
			1年次	2年次	計
教育学研究科	学校教育専攻※	-	-	4(2)	4(2)
	社会科教育専攻※	-	-	1(0)	1(0)
	美術教育専攻※	-	-	1(1)	1(1)
	英語教育専攻※	-	-	1(1)	1(1)
	教育実践高度化専攻	35	30(15)	19(8)	49(23)
	計	35	30(15)	26(12)	56(27) *48.2%
人間社会環境研究科	人間文化専攻	25	27(17)	28(16)	55(33)
	社会システム専攻	18	12(3)	19(8)	31(11)
	公共経営政策専攻	12	19(9)	16(6)	35(15)
	計	55	58(29)	63(30)	121(59) *48.8%
医学系研究科	医科学専攻	15	17(8)	21(7)	38(15)
	創薬科学専攻	38	50(14)	-	50(14)
	保健学専攻	70	63(27)	89(36)	152(63)
	計	123	130(49)	110(43)	240(92) *38.3%
自然科学研究科	数物科学専攻	56	68(16)	59(2)	127(18)
	電子情報工学専攻	67	91(8)	98(9)	189(17)
	機能機械科学専攻	51	59(1)	66(1)	125(2)
	人間・機械科学専攻	40	59(8)	51(5)	110(13)
	物質化学専攻	26	37(7)	35(5)	72(12)
	物質工学専攻	53	70(7)	70(14)	140(21)
	地球環境学専攻	19	23(5)	17(7)	40(12)
	社会基盤工学専攻	48	47(3)	35(2)	82(5)
	生物科学専攻	17	19(9)	16(4)	35(13)
	生命薬学専攻※	-	-	63(25)	63(25)
	医療薬学専攻※	-	-	8(3)	8(3)
計	377	473(64)	518(77)	991(141) *14.1%	
合計	590	691(157)	717(162)	1,408(319) *22.7%	

大学院 博士（後期）課程

単位：人  
平成22年5月1日現在  
※は従前の専攻を示す

（ ）は女子学生数  
\*は女子学生の比率を示す

研究科	専攻名	定員	在籍者数				
			1年次	2年次	3年次	4年次	計
医学系研究科	脳医科学専攻	20	7(2)	7(1)	13(6)	23(8)	50(17)
	がん医科学専攻	26	20(7)	33(7)	16(4)	97(17)	166(35)
	循環医科学専攻	22	15(1)	12(5)	19(3)	82(22)	128(31)
	環境医科学専攻	12	9(4)	10(6)	13(4)	21(9)	53(23)
	保健学専攻	25	30(10)	33(11)	84(45)	-	147(66)
	内科系専攻※	-	-	-	-	14(3)	14(3)
	外科系専攻※	-	-	-	-	12(1)	12(1)
	計	105	81(24)	95(30)	145(62)	249(60)	570(176) *30.9%
社会環境科学研究科	地域社会環境学専攻※	-	-	-	5(2)	-	5(2)
	国際社会環境学専攻※	-	-	-	6(0)	-	6(0)
	計	-	-	-	11(2)	-	11(2) *18.2%
人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	12	14(7)	16(7)	27(15)	-	57(29)
	計	12	14(7)	16(7)	27(15)	-	57(29) *50.9
自然科学研究科	数物科学専攻	13	9(0)	9(2)	14(0)	-	32(2)
	電子情報科学専攻	15	7(1)	6(1)	17(0)	-	30(2)
	システム創成科学専攻	21	7(0)	15(2)	20(1)	-	42(3)
	物質科学専攻	17	10(3)	9(2)	13(2)	-	32(7)
	環境科学専攻	22	15(3)	21(3)	30(5)	-	66(11)
	生命科学専攻	30	26(10)	27(8)	36(9)	-	89(27)
	システム創成科学専攻※	-	-	-	1(0)	-	1(0)
	計	118	74(17)	87(18)	131(17)	-	292(52) *17.8%
合計	235	169(48)	198(55)	314(96)	249(60)	930(259) *27.8%	

学生数（その他）

単位：人  
平成22年5月1日現在

（ ）は女子学生数  
\*は女子学生の比率を示す

専門職学位課程

研究科	専攻名	定員	在籍者数			
			1年次	2年次	3年次	計
法務研究科	法務専攻	25	19 (5)	28 (13)	38 (9)	85 (27) *31.8%

別科

別科	入学定員	在籍者数
養護教諭特別 別科（1年制）	40	38 (37) *97.4%

科目等履修生・研究生等

区分	在籍者数		
	科目等 履修生	研究生等	計
学部	27 (9)	10 (8)	37 (17)
大学院	7 (6)	125 (64)	132 (70)
がん研究所	-	0 (0)	0 (0)
留学生セン ター	3 (2)	64 (44)	67 (46)
合計	37 (17)	199 (116)	236 (133) *56.4%

## 職員数

単位：人  
平成22年5月1日現在

区分	役員	教育研究職員								事務職員	技術職員	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭 養護 教諭			
役員	9						0					9
人間社会研究域		141	79	7	1	3	231					231
理工研究域		107	67	26	52	3	255	2			32	289
医薬保健研究域		92	78	14	85		269	7			18	294
大学院自然科学研究科							0	4				4
大学院医学系研究科							0	14				14
附属病院		3	10	39	78		130	25			806	961
がん研究所		12	6		19		37	1				38
地域連携推進センター		1	1				2	2				4
学際科学実験センター		2	4		4		10				5	15
総合メディア基盤センター		3	2		3		8	1				9
イノベーション創成センター		2	1				3	2				5
留学生センター		5	4				9	1				10
外国語教育研究センター		6	11				17					17
環日本海域環境研究センター		9	4		5		18				2	20
大学教育開発・支援センター		3	2				5					5
環境保全センター			2		1		3					3
子どものこころの発達研究センター							0	6				6
保健管理センター		1	3	2	2		8				4	12
フロンティアサイエンス機構							0	10				10
男女共同参画キャリアデザインラボラトリー							0	2				2
附属学校							0		108			108
事務局							0			411	46	457
合計	9	387	274	88	250	6	1,005	77	108	411	913	2,523

## 編集後記

昨年7月から今年3月までの短い期間でしたが、キャリアデザインラボラトリーの一員として、「女性研究者支援モデル育成」事業にかかわりました。皆さまのご協力のおかげで事業を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。男女共同参画を推進していくには困難を伴うことを認識しましたが、今後も金沢大学が、「男女がともに輝ける大学」に向かって進んでいくことを願っております。

俵 希實（プロジェクトオフィサー・特任准教授）

「女性研究者支援モデル育成」事業を推進するにあたり、皆さまから多大なご協力をいただき深く感謝しております。多くのご助言や機会をいただき、計画していた取組みに加え、さらに多くの成果をえることができました。

金沢大学で男女共同参画の意識がより一層浸透しよりよい職場環境に繋がるように、今後ともご支援ご協力をよろしく願いいたします。

糸野 妙子（プロジェクトオフィサー・特任助教）

キャリアデザインラボラトリーの一員として1年半ほど業務に携わってきました。女性研究者の働きやすい環境作りの為には何が必要かと、試行錯誤の日々で一步ずつ進んでいるように感じます。

今後、もっと女性研究者が働きやすい環境が充実するようみなさまのご協力ご支援をお願いいたします。

瀧本 奈々（事務補佐員）